

おぎかいです

vol.158



高校生の気づきが町の未来を照らす

一人当たり5000円のプレミアム商品券 配布可決!!～物価高騰に対する支援事業～

●高校生と議員のしゃべり場	2～3
●議案審議の結果一覧	4～5
●議案・請願・陳情	6
●委員会研修報告	7
●町政を問う「一般質問」	8～13
●みんなで考えよう！東郷町議会のあり方	14～15

第6回

高校生と議員の しゃべり場

令和7年12月19日（金）

議会広報広聴委員会は、東郷高校生徒会役員をお招きし、同生徒会が全校生徒を対象に実施したアンケートをもとに、議員との意見交換会を行いました。

今年は、高校生と議員が4つの少人数グループに分かれて活発に意見を交わしました。

アンケートから見たこと

「東郷町の活性化」をテーマに、QRコードを活用したアンケートには多くの生徒が回答しました。

町内在住は約2割にとどまり、町の施策やイベント、議員について「よく知らない」とする声も多く見られました。一方で、日常生活の中で感じている率直な意見や疑問が数多く寄せられました。

自然と便利さ、どちらも大切に

放課後に友人と過ごせる場所を求める声があ



る一方で、「自然があって落ち着く」「都会は人が多くて疲れる」といった意見もあり、現在の環境の良さを評価する声も聞かれました。

便利さだけでなく、東郷町ならではの住みやすさを大切にしたいという思いがうかがえました。

アクセス向上で広がる交流

駅がない分、バスの充実を求める意見が多く出されました。

赤池駅などへのアクセス向上は、通学や外出の利便性だけでなく、町の交流や活性化

にもつながるとの声がありました。

普段の移動手段として公共交通をどう確保していくかが、身近な課題として共有されました。

若い世代に届く情報発信を

町の行事については、「知らなかった」「気づいたら終わっていた」という声が多く、SNS（InstagramやYouTubeなど）による情報発信の重要性が指摘されました。

高校生からは、部活動でSNS発信を行ったことで来場者が増えた実例も紹介され、若い世代に情報を届ける手法としての有効性が話題となりました。

地域との関わり

イベントへの参加や、部活動を通じた地域交流、高校生の得意分野を生かしたボランティア活動など、自分たちが地域と関わる具体的なアイデアも出されました。

文化祭や部活動を通して地域と関わった経験を挙げながら、「高校生の活動を知ってもらうことで、地域の人に応援してもらえるのではないか」「東郷高校に通っていなければできなかった経験になる」といった意見も聞かれました。

年代を超えた交流が、新たな刺激や思い出につながるという声が印象的でした。

また、意見交換の中では、高校生であっても、町に対して請願や陳情といった形で意見を届けられることができる仕組みがあることが紹介されました。

自分たちの声を行動につなげる方法を知り、「やろうと思えば、自分たちにもできることがある」という気づきにつながりました。

高校生の気づきが町の未来を照らす

生徒会からは、「町がもっと活性化すればよいと思った」「これまで考えていなかったこと

が、自分の中で動き始めた」「イベントに参加する側、その一員になりたい」といった声が聞かれました。

また、「普通に生活していたら触れることのなかった町の取組に関わりたい」「自分たちが発信することで、地域とのつながりが生まれる」といった前向きな気づきも共有されました。

日常生活では触れることの少ない町の課題について、高校生自身が考え、声を上げ、行動するきっかけとなった意見交換会。高校生の率直な声と一歩踏み出そうとする姿勢が、地域の人に知ってもらい、応援の輪を広げ、町の未来につながる確かな一歩となりました。

広報広聴委員も若い世代から新たな視点での気づきやヒントを得る貴重な時間となりました。

東郷高校生徒会役員の皆さん、ありがとうございました！



議案審議の

令和7年第4回定例会は会期11月27日～12月23日の間に開催されました。

風…明風会 国…国民民主党 維…東郷維新の会 公…公明党 無…無所属の会 共…日本共産党東郷町議員団		会派	風	国	維	公	無	共	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
議案名 ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 棄…棄権 除…除斥 討…討論を有した議案と議員		審議結果	石原えりか	加藤のぶひさ	高橋道則	高木佳子	山田達郎	門原武志	中野まさひろ	山下茂	熊田彰夫	こう田さとみ	加藤宏明	水川淳	加藤啓二	若園ひでこ	菱川和英	
議案第60号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わらない	○	○	○	
議案第61号	東郷町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	× 討	○ 討	○	○	○ 討	○		○	○	○	
議案第62号	東郷町職員の旅費に関する条例の全部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第63号	東郷町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第64号	東郷町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の全部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第65号	東郷町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第66号	東郷町使用料及び手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第67号	東郷町国民健康保険東郷診療所条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第68号	東郷町商業施設等立地促進条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第69号	東郷町道路占用料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第70号	東郷町都市公園条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第71号	東郷町準用河川占用料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第72号	東郷町公共利用物管理条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第73号	和解について	可決	○	○ 討	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第74号	令和7年度東郷町一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 討	○		○	○	○	
議案第75号	令和7年度東郷町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第76号	令和7年度東郷町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第77号	令和7年度東郷町下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第78号	東郷町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第79号	東郷町少人数学級編制等の実施に係る任期付町費負担教員の任用等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第80号	東郷町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第81号	東郷町特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第82号	東郷町職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第83号	東郷町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
議案第84号	令和7年度東郷町一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第85号	令和7年度東郷町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第86号	令和7年度東郷町国民健康保険東郷診療所特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第87号	令和7年度東郷町介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第88号	令和7年度東郷町下水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
請願第3号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書	不採択	×	○	×	×	×	○ 討	×	×	×	×	×	×	×	×		
陳情第9号	陳情書「地元自治体との連携による商工会支援体制の強化と地域商工業振興に対する施策の拡充」	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

議長は採決に加わらない

結果一覧

それぞれの議案の概要およびポイント
(各議員の討論はQRコードを参照願います)

ストックマネジメント計画に基づき、部田山汚水中継ポンプ場の電気設備更新工事を施工する

児童福祉法の一部改正に伴い必要があるため

国家公務員等の旅費に関する法律の一部改正に準じ改正する必要があるため

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い必要があるため

特定教育・保育施設及び特定地域型事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い必要があるため

放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準の一部改正に伴い必要があるため

東郷町道路占用料条例の一部改正に準じ、使用料の額を見直す必要があるため

東郷町国民健康保険東郷診療所訪問看護ステーションの廃止に伴い必要があるため

東郷中央土地区画整理事業の進捗に伴い、奨励措置の対象施設の見直し及び指定期間の延長を行う必要があるため

愛知県道路占用料条例の一部改正に準じ、占用料の額等を見直す必要があるため

東郷町道路占用料条例の一部改正に準じ、使用料の額を見直す必要があるため

愛知県流水占用料等徴収条例の一部改正及び東郷町道路占用料条例の一部改正に準じ、占用料の額を見直す必要があるため

東郷町道路占用料条例の一部改正に準じ、使用料の額等を見直す必要があるため

昭和55年度から土地の賃貸借契約を行っていた諸輪小学校のプール敷地の一部について、地方自治法第96条第1項第12号の規定に基づき、和解をするために必要があるため

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億8517万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ177億5460万円と定める

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ217万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ35億9953万円と定める

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ412万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ31億2312万円と定める

営業外収益の減額に伴い下水道事業収益を1670万円減額、営業費用の減額に伴い下水道事業費用を1936万円減額、国庫補助金等の増額に伴い資本的収入を4000万円増額、建設改良費の増額に伴い資本的支出を4000万円増額

地方公共団体情報システムの標準化移行時期の延期に伴い必要があるため

県費負担教員の給与月額改正に準じ、任期付町費負担教員の給料月額を改正するとともに、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部改正に伴い、教員の職務の状況に応じた処遇の改善を行う必要があるため

東郷町職員の給与に関する条例の一部改正に準じ、東郷町議会の議員の期末手当の支給割合を改正する必要があるため

東郷町職員の給与に関する条例の一部改正に準じ、特別職の職員で常勤の者の期末手当の支給割合を改正する必要があるため

一般職の職員の給与に関する法律の一部改正に準じ、一般職の職員の給料月額を改正する必要があるため

一般職の職員の給与に関する法律の一部改正に準じ、会計年度職員の報酬額を改正する必要があるため

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億9180万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ182億4641万円と定める

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ38万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ35億9991万円と定める

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ63万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億3763万円と定める

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ94万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ31億2406万円と定める

営業外収益の増額に伴い下水道事業収益183万円、営業費用の増額に伴い下水道事業費用を183万円増額する

「いのち・暮らし・社会保障」の拡充を最優先に、制度の改善に向けて各種請願項目の実施に前向きな回答を求める

地元自治体との連携による商工会支援体制の強化と地域商工業振興に対する施策の拡充を求める



第4回定例会 主な議案・請願・陳情

(12月議会)

11月27日から12月23日までの27日間の日程で開かれた第4回定例会（12月議会）では町長が提出した29議案がいずれも原案どおり可決されました。請願1件は不採択、陳情1件は採択されました。主な内容をお知らせします。

議案第84号：令和7年度一般会計補正予算（第6号）

全会一致で可決

1人当たり5000円分プレミアム商品券 3月配布へ 物価高騰対応事業 2億6500万円

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金2億4400万円と県のげんき商店街推進事業費補助金2100万円を活用

国からの物価高騰対応の臨時交付金と県からの補助金を活用して、プレミアム商品券発行事務の委託費2億6500万円に充てます。

町内の参加店で使えるプレミアム商品券を1人当たり5000円分を配布。1000円以上のお買い物で500円分の商品券が使えます。

議員はここに注目！

- Q 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の東郷町に配分される金額は？
A 3億6734万円。その一部をプレミアム商品券に活用。残りは検討中。
- Q お米券や現金配布ではない理由は。
A 用途を限定させないようにした。町内事業者支援のため、町内だけで使えるようにした。
- Q 500円券で400円の買い物はできないか。
A 1000円以上の買い物で500円券が1枚使える。

議案第61号：こども誰でも通園制度

賛成多数で可決

4月から全国の市町村で実施される「こども誰でも通園制度」のための条例を制定。

こども誰でも通園制度とは

生後6か月から満3歳未満の乳幼児のうち、保育所等の施設に通園していない子が、1か月に10時間まで全国の保育所等に通園できるようにし、子どもの集団生活の場や保護者への子育て支援をするもの。町内では、町立中部保育園、にじいろ保育園で実施。料金等は未定。申し込み方法は2月に公表予定。

請願と陳情

- 請願第3号「介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充を求める請願書」は賛成少数で不採択。
- 陳情第9号「地元自治体との連携による商工会の強化と地域商工業振興に対する施策の拡充」は全会一致で採択。

議案第73号：土地の所有権について和解

全会一致で可決

諸輪小学校プールの部分の土地は町有地ではなく、民間からの借地だとされていたが、地権者から土地を買い取るよう申し出があり、あらためて測量しなおしたところ、町有地だったことが判明しました。町は相手方と次の内容で和解することを議会に提案。議会は承認しました。

- 土地は町所有地と認める。
- 町はこれまで払ってきた借地料の返還を求めない。

議員はここに注目！

- Q なぜこのようなことが起きたのか。
A 公図混乱地域であることと、当時の測量精度の低さ。
- Q これまでの借地料の総額と、請求できる金額は。
A 44年分で約1200万円。うち10年分の300万円は請求可能。
- Q 測量に要した費用は。
A 約206万円。

総務経済委員会県外研修（令和7年10月9日～10日）

堺市〈都市公園活性化・パークマネジメント計画・PFI管理運営〉を学ぶ。

事業概要

公園の規模が比較的大きく、他の施設などと隣接していることから効率的な運用が可能。

事業内容と現況

市内の都市公園は全部で1193園ある。長寿命化（補修）の関連費用は3億円。国からの補助金は2分の1。事業団体と運営契約を締結し、売り上げの1.5%が還元されるなど、効率的な運用が可能。

本町の施策にどう活かす？⇒本町の公園とは規模数が違うため、導入にはしっかりした研究が必要。



京丹波町〈店舗型ふるさと納税〉を学ぶ。

事業概要

中間業者を経ず、町が直接事業を推進し展開している、旗振り役は町長。

事業内容

京丹波町は、中間業者を介さず、店舗で返礼品を受け取る「店舗型ふるさと納税」を全国で初めて道の駅にも展開した。寄付額そのものではなく、町への付加価値創出や関係人口との接点づくりを重視しており、道の駅へのふるさと納税返礼品の出品もその取組の一環である。ふるさと納税事業は店舗型開始前後とも黒字を維持し、寄付は名物の栗の生産者支援（新規就農や広報）にも充てている。

本町の施策にどう活かす？⇒ふるさと返礼品の品物、参加企業を検討することも課題だが、事業に取り組む優秀な人材育成が重要であると思われる。



文教民生委員会県外研修（令和7年11月5日～6日）

【西宮市 こども未来センター】

〈様々な課題を抱えた子どもたちへの福祉・教育・医療が連携した切れ目のない支援～その現場を訪ねて学ぶ〉

センターの事業内容と現況

18歳までの子どもの心身の発達や療育・福祉サービスに関すること、教育や不登校、情緒不安定、性格に関することなど様々な悩みや不安について相談に応じ支援に繋げている。

身体・知的・発達に関する診察や小児リハビリテーションを行う診療所、保護者からの依頼を受け障害児支援利用計画を作成する障害児相談支援事業所、2歳児からの就学前の子どもに対して療育の支援をする福祉型児童発達支援センター、不登校の小中学生の社会的自立をめざす施設をセンター内に併設。また、学校園など子どもが生活する場所に出向き、子供への支援方法や学校園の支援体制について助言を行う“アウトリーチ”を行っている。

本町の施策にどう活かす？⇒支援に必要な関係機関の連携体制づくり、各専門機関の掘り起こしが必要。



【生駒市 重層的支援体制整備事業「かさねるいこま」】

〈既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制をいかに構築し、支援を一体的に行うかを学ぶ〉

事業概要

令和5年4月から移行準備事業に着手し令和7年度から本事業に移行。

多機関共同事業として、いこまる主任推進員2名を会計年度任用職員として雇用し支援関係者との連携・つなぎを行う。

参加支援事業を社協に委託し地域の多様な団体・事業者（約40）で構成される「孤独孤立対策連携プラットフォーム」の参加支援分科会と連携して実施。

本町の施策にどう活かす？⇒個別対応がしっかりとできていれば、必ずしも重層が必要とは限らない。また、分野を超えた横断の交流が必要で、行政がイベント等により、各事業者の職員同士の交流を促すことが肝。



町民のみなさまに代わって町政を問う

一般質問

12月議会では11人の議員が
質問に立ちました。



議場での一般質問の様子をいつでもどこでも

お手元のスマホのカメラで、QRコードを読み取り、
気になる議員の議場での質問の様子をぜひご覧ください。

※スマホの種類によって、方法は異なります。

動画はこちら



〇〇〇〇 議員



各議員の見出しにある
QRコードを
スマホのカメラで
読み取って



Q: 広域行政に関し近隣首長と協議はするか

A: 現時点では協議の予定はない

動画はこちら①



動画はこちら②



加藤 のぶひさ 議員

【問】現在の一部事務組合をまとめ広域連合を設立することを庁内で議論したことがあるか。

【担当部長】議論したことはない。

【問】近隣市との連携を深める本町の考え方は。

【担当部長】尾三地区自治体間連携推進会議を中心に広域的な連携を考えていく。

【問】地域公共交通における広域連合を考えた場合、本町財政への影響は。

【担当部長】現在の巡回バスは効率的に運行されており、広域化による財政負担の割合が現状より増加する可能性がある。

【問】火葬場を広域連合または一部事務組合にて運営する考えはあるか。

【担当部長】現時点では考えはない。

町長によるトップセールスについて

【問】町長自らが行う企業訪問等はどのようなか。
また、金融機関への活動はどうか。

【担当部長】町内事業者へ出向き聞き取りや、設備投資促進条例等の案内をしている。町内金融機関へ担当課にて訪問している。



連携を深める近隣市首長とのボート競技



健康マージャン導入で高齢者の社会参加促進 孤立防止・介護予防・認知症予防を!!

動画はこちら



高木 佳子 議員

【問】「健康マージャン」を高齢者の社会参加を促す取組として支援していく考えはあるか。

【担当部長】町で実施している取組を通じ、健康マージャンを含めた活動を支援し、高齢者の外出や交流、生きがいを進めていく。

【問】自主サークル・地域団体が「健康マージャン」を始める際、どのような支援が可能か。

【担当部長】活動の内容や目的を伺い、既存の助成制度の案内や情報提供などの支援を行う。

RSワクチン接種助成について

【問】RSウイルスワクチン接種に関する情報提供や周知啓発についての考えは。

【担当部長】国が定期接種化を検討する中で、効

果など、調査、研究段階であることから、引き続き国の動向等を注視していく。

【問】RSウイルスワクチン接種助成制度を検討する考えはあるか。

【担当部長】国において高齢者のRSウイルスワクチン定期接種化に向けた検討が進められている。引き続き国の動向を注視していく。



「健康マージャン」は
「通いの場」
「仲間づくりの場」



専任の教員配置で、生徒・保護者・教員から 高評価の「校内教育支援センター」の本格実施を

動画はこちら



中野 まさひろ 議員

【問】今年度から試行実施中の中学校での「校内教育支援センター」試行実施状況は。

【担当部長】11月末までの利用者数は、3中学校全体で51人。「不登校傾向であった生徒が登校できるようになった」「教員の負担軽減で、子どもと向き合う時間が確保できた」旨報告あり。

「剪定枝」の資源化を

【問】本町の昨年度の「草ごみおよび剪定枝」の東郷美化センターへの持込は826t。剪定枝を回収し粉碎して、希望者に配布する資源化検討は。

【担当部長】今後の資源循環施策を進めるうえで、実現可能性やコストなど総合的に検討する。

早急に「火葬場整備」の検討を

【問】約9.9%市民外を受け入れた名古屋市立斎場の受入は、八事斎場再整備後は半分に減る。令和42年の火葬件数は現在の2倍以上の見込みだが火葬炉数は1.32倍。現在火葬場建設を検討中のみよし市等と連携し火葬場整備の考えは。

【町長】みよし市への働きかけの考えはない。



現在は燃えるごみとして経費をかけて焼却している「剪定枝」の資源化を



町長が施政方針に掲げた項目の進捗状況を問う

動画はこちら



石原 えりか 議員

【問】公共交通に係る住民懇談会の結果は。

【担当部長】町長自らも各地区に出向いた住民懇談会を計14回開催、公共交通について町民同士が意見交換した。延べ133名が参加。区長・自治会長の協力により周知が進み、関心を持って、ご参加いただけた。

【問】今後のスケジュールは。

【担当部長】来年度上半期に住民懇談会で巡回バスの路線素案を示し、12月にパブリックコメントを実施。公共交通会議の審議を経て令和9年3月に決定し、各種手続きと周知後、同年10月から新路線で運行開始予定。

自治体フロントヤード改革について

【問】フロントヤード改革(役場の窓口を誰にとっても使いやすくする取組)のメリットは。

【担当部長】行かない・書かない・待たない窓口で住民利便と職員負担の軽減を図る。

【問】コンビニ交付サービスの予定は。

【担当部長】令和8年度中の導入に向けて、現在調整を進めている。



各地区で開催された住民懇談会の様子



Q: 生ごみ処理容器、電動処理機への補助金状況は A: 6年度は補助金枠が早々になくなった

動画はこちら



山下 茂 議員

【問】補助金に関して、今後の対応と考え方は。

【担当部長】補助金額の増額や町民の皆様により利用しやすい制度にした結果、令和6年度は電動生ごみ処理機18基、生ごみ処理容器14基となり、この時点で予算上限に達し補助を終了した。

【問】ちなみに令和7年度の利用状況はどうか。

【担当部長】11月末時点で、電動生ごみ処理機26基、生ごみ処理容器6基。

【問】キエーロという堆肥がでない利便性の高い処理方法もあるが、補助金の対象になるか。

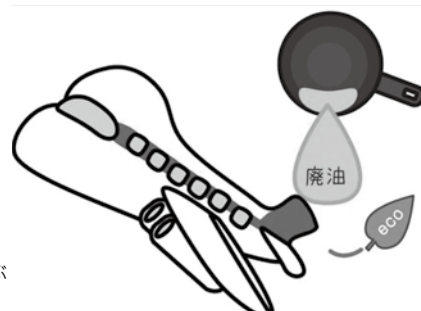
【担当部長】生ごみ処理容器として補助対象。

SAF: 持続可能な航空燃料拡大

【問】廃食用油を本邦エアラインの航空燃料に活

用する取組であるFry to Fly Project(以下F2F PJT)への取組状況は。

【担当部長】資源回収ステーションで町民の皆様から回収した廃食用油及び給食センターから排出された廃食用油を令和8年度以降、SAFに活用するための協定を関係企業と締結する予定。F2F PJTも、既に参加申込みを行っている。



廃食用油で空を飛ぶ
Fry to Fly Project



都市計画道路名古屋春木線について

動画はこちら



熊田 彰夫 議員

【問】春木川を渡る春木川橋梁(仮称)について橋梁箇所線の設計は済んでいるか。

【担当部長】県と設計協議を行い予備設計は完了。現都市計画線形との差異が生じたため、変更を進めている。12月中に町の都市計画審議会を行い、その後県の都市計画審議会において審議し、決定する予定。

【問】橋梁と平面部を比較し、どの程度高低差があるか。

【担当部長】橋梁中央部と近くの交差点との高低差は約1.7m。

【問】視距にはどの程度影響があるのか。

【担当部長】県や公安委員会との間でも協議されており問題はない。

【問】横断歩道はどのようなになるか。また今後の施工予定はどうか。

【担当部長】横断歩道は南駐車場前辺りに一つ、タチヤ駐車場前辺りに一つの計2箇所となる。また、都計変更後に地元説明を行い、その後用地交渉を進め、用地取得に合わせ工事を進める。



都市計画道路
名古屋春木線



現在の庁舎は川をまたいで建てられている 大規模な地震に耐えられるか

動画はこちら



高橋 道則 議員

【問】大規模災害時に、新旧庁舎の接合部分が気になる。

【担当部長】平成24年度に耐震改修を行っており、新耐震基準で建設されている。

【問】本庁舎が機能不全に陥った場合、建て替える必要になるが、計画はあるか。

【担当部長】災害での建替計画はない。

電波障害の相談

【問】電波障害で相談された時の対応を問う

【担当部長】監督官庁である総務省東海総合通信局を紹介する。

【問】電子機器の不具合が起きれば生活に支障が出ると考えられるがいかがか。

【担当部長】内容を丁寧に伺い、状況に応じ所管となる窓口を案内していく。

新しい形態のバス運行

【問】小型ワゴン車による福祉バスの運行は。

【担当部長】福祉バスは以前、福祉センターとの連絡バスとして事業目的のため運行したことがある。



防災の日
東郷中学校
ベッドづくり



Q: 空家の苦情窓口をアピールすべきでは A: 状況に応じ適切に対応をしていく

動画はこちら



若園 ひでこ 議員

【問】空家が隣や近所にあると日々の生活に大きな悩みや不安の材料となる。一方で相談窓口の存在を知らずに解決に思い煩う町民もいる。窓口の認知度をどのように考えるか。

【担当部長】相談に対して担当課にはスムーズに案内されている。空家の敷地内雑草や樹木の越境等に関する相談は日々あることから、一定の認知はされていると考えている。

【問】相談する方は悩みや不安解決の糸口イコール役場(都市計画課)と思い付く方だと思う。思い付かない町民へ窓口の存在を広めることが重要。まずは「広報とうごう」への掲載が必要。高齢化社会、気候変動、災害などの空家への影響も危惧されることを考えると、しっかりアピー

ルすることが特に必要と感じているがどのように考えるか。

【担当部長】多様な住民に対して思ったように周知できないことも想定される。「広報とうごう」をはじめチラシなど手に取りやすい方法を検討する。



空き家への苦情相談は
都市計画課へ



Q: 多文化共生社会への認識は A: 相互理解と尊重が地域発展に重要

動画はこちら



門原 武志 議員

【問】東郷町は外国籍人口が増え、人口は横ばい。多様な人が就業、定住するための施策は。

【担当部長】国籍や文化が異なる人が互いの違いを認め尊重しあうことが地域の安心と持続可能な発展に重要。生活に必要な情報を提供し、行政として差別的な言動を許容しない姿勢を示す。

加齢性難聴者への補聴器購入補助

【問】県内で加齢性難聴購入費の補助をする市町村が増えている。町の考えは。

【担当部長】高齢者の認知機能に影響するという課題は把握している。国や県、近隣の動向など制度の検討に役立つ情報収集に努めたい。

じゅんかい君の料金

【問】町のアンケートは、料金と経費の関係などを示し、値上げへの誘導のように思えたが。

【町長】住民懇談会では料金を上げてでも良くしてとの意見もあったが、値上げする方向と答弁できる段階ではない。懇談会での意見、アンケート結果、議員からの意見も踏まえ検討したい。



加齢性難聴者の補聴器
購入費助成をしている
県内市町村
(しもおく奈歩県会議員
作成の資料から)



Q：火葬場について関心はないのか

A：町としては関係自治体と話し合っている

動画はこちら



山田 達郎 議員

【問】火葬場利用料差額の補助の検討をお願いしたが、いかがか。

【担当部長】補助は考えていない。

【問】火葬待ち保管料も高額で遺族の精神的、金銭的な負担を経験した。町は火葬待ちの保管料も含めて補助をするべきだがいかがか。

【担当部長】考えていない。

野生動物による被害について

【問】野生動物による野菜などの被害状況は。

【担当部長】米、イチジク、トマトなど。

【問】熊やイノシシが来ない保証はない。豊田市松平から153号線で40分程で東郷町に来れる。時速50キロで走る熊、猪も50キロ、鹿は70キ

ロ。一般男性が12キロなのでとても逃げられない。対策と準備は。

【担当部長】12月4日に愛知署と相談し今後猟友会とも面談して準備を進める。

【問】将来に備え募集して狩猟免許からライフル銃調達まで考える必要があるがいかがか。

【担当部長】ご意見として承っておく。



可愛いタヌキでも餌を与えないで



**音貝保育園を公立園として残す方向へ再検討
保育の質を担保する為の処遇改善へ投資検討**

動画はこちら



こう田 さとみ 議員

【問】公立園が目指すソフト面の環境整備は。

【担当部長】現場保育士の声を聞き、働きやすい配置人数の改善、質の向上の為の毎日のミーティング、全体研修、年齢別検討会を実施。

小中学校の部活動の在り方について

【問】中学校休日部活の民間委託の事業内容は。

【担当部長】3中学で20種目、上限36クラブを予定。土日祝のうち1日3時間程度活動。統括責任者を各校1名、各種目に指導者2名配置。

【問】地域クラブの位置づけと大会参加資格は。

【担当部長】学校部活動の教育的意義を継承・発展させる。大会参加は地域クラブとして実施。

【問】部活に教員が関わりやすくする為の制度は。

【担当部長】教員の兼業兼職を認め、活動の一貫性と教育的効果の確保に努める。

【問】受益者負担(月3千円)無償化への検討は。

【担当部長】経済的困窮世帯への支援措置は検討。

【問】小学校の部活廃止に代わる活動機会確保に名古屋市の取組みを取り入れることへの考えは。

【担当部長】各地の先進取組みを参考に研究する。



公立園として
存続を検討する
～音貝保育園

みんなで考えよう！東郷町議会のあり方

東郷町議会では、町民のみなさんが常日頃感じている“議会”や“議員”に対するイメージが希薄であったり、現実とは異なる先入観で見られているのでは…と自省すると共に、改善に向けての積極的な行動が求められていると考えております。

そこで、本来議会とはどうあるべきか？理想の議員像とはどうあるべきか？を町民のみなさまと一緒に考えながら創り上げるための、「議会のあり方」プロジェクトを立ち上げていく予定です。

そして、それらを通じて“より多様で寛容な開かれた議会”を目指すと共に、“次世代の議員候補が積極的に安心して立候補できる”環境整備（報酬等）に向け、積極的にみなさまの声に耳を傾け、双方向の意見交換を行いたいと思います。

理想とする
議員像？



交流が活発

- ◎ 若者の意見も聴く
- ◎ 町民との交流がある
- ◎ 意見の収集が活発
- ◎ 町民も参加できる

積極的

- ◎ 新たな改革に取り組む
- ◎ 聞く耳を持っている
- ◎ 変化を恐れない
- ◎ 行事などに参加する

人間性

- ◎ 責任感がある
- ◎ 多様性を尊重する
- ◎ 強い信念・使命感がある
- ◎ 親しみやすい
- ◎ 平等/公平/公正である

能力

- ◎ 専門性が高い
- ◎ 知識と経験がある
- ◎ 批判的思考を持っている
- ◎ 他市町の事例を研究する
- ◎ 地域について学ぶ

是非みなさんの声をお聞かせください！！

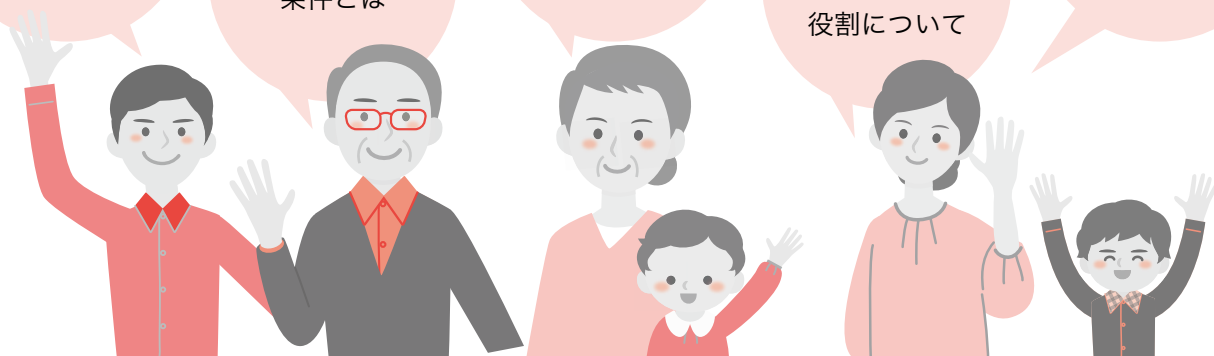
これからの
議会制度を
考える

立候補の
条件とは

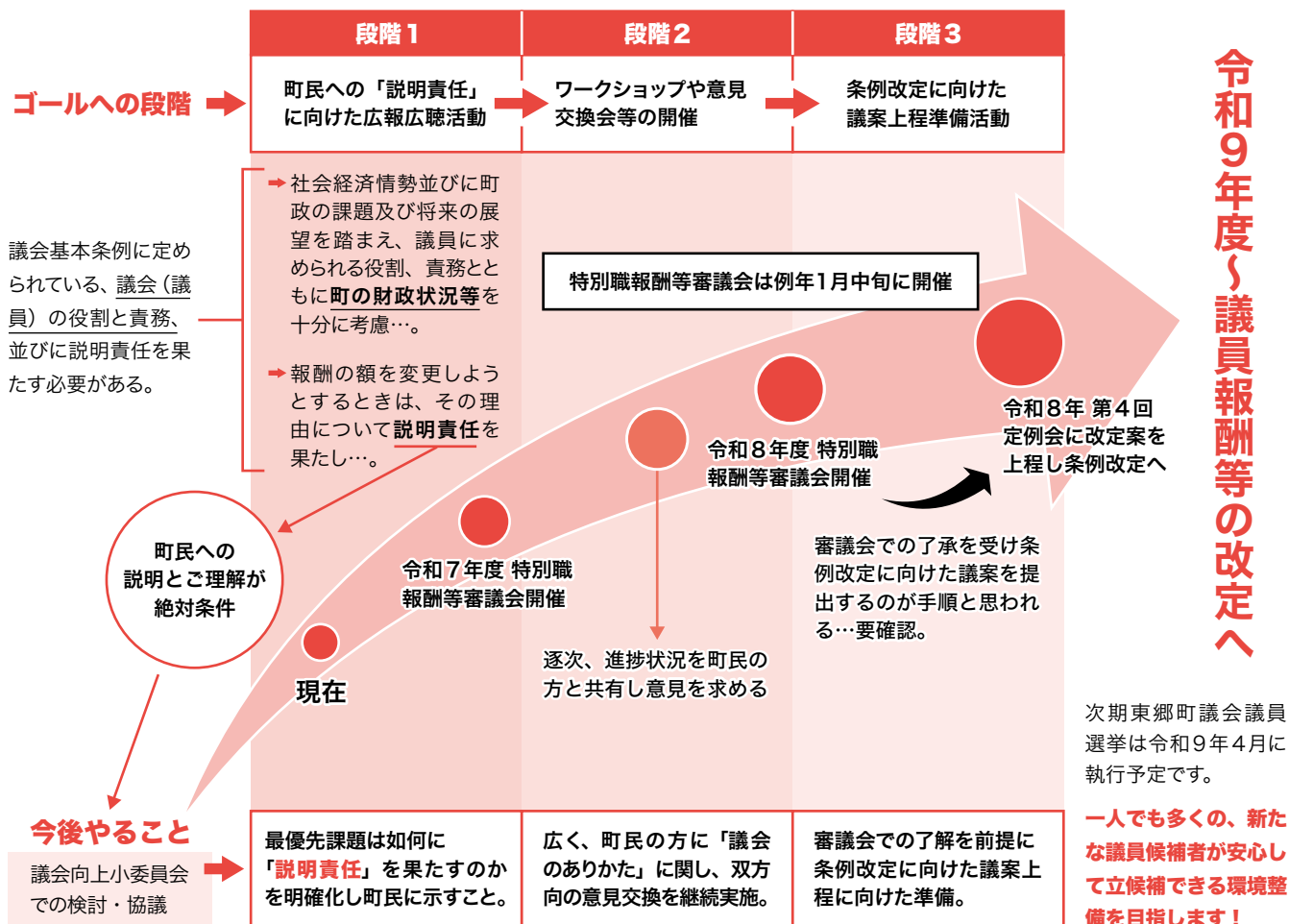
貴方が思う
議員像とは

東郷町議会の
実態とこれからの
役割について

議員を取り巻く
社会状況と
ライフステージ



～ 新たな議員のなり手を募るためには報酬改定が必要～



全国町村議長会においても、以下にある重点要望8項目を取りまとめ、国に強く要望しています。

特に太字の項目に関しては、本町としても早急に取り組む必要性があると考えます。

1. 議員のなり手不足対策への支援

- ☑ 単なる数不足だけの問題ではなく、議員の資質も含めて、地方自治の弱体化に繋がる危険性がある

2. 低額な議員報酬の改善

- ☑ 若者や、女性、会社員などが議会に参画できるように、議員報酬に生活給的要素が含まれることを明示

3. 厚生年金への地方議会議員の加入
4. 休暇・休職・復職制度の整備
5. 主権者教育の推進
6. 政治分野の男女共同参画の推進
7. 議会のデジタル化への支援
8. 地方議会議員に係る選挙制度の改正

「議員のなり手不足対策」及び議会への多様な人材の参画に関する重点要望

第69回町村議会議長全国大会
令和7年11月12日



全国町村議会議長会

「議会のあり方」プロジェクト推進にはみなさまのご協力が不可欠です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2月28日の意見交換会にぜひご参加ください。
(詳しくは裏表紙をご覧ください)

議会報告会

議会報告WEB配信中！

議会報告会につきましては、多くの方にご報告させていただくため、これまでの本会議場を利用した開催から、今後はウェブ上での開催へと変更いたしました。

初回の配信は1月下旬を予定しております。
多くの方にご視聴いただければ幸いです。

意見交換会

みんなで考えよう！東郷町議会のあり方

日時 2月28日（土）午前10時～12時

場所 議場（役場庁舎4階）

詳しくは14～15ページをご覧ください。

ネットで議会

スマホなどのQRコードリーダーなどで
読み取ってご覧ください。



議会ウェブページ



議会報告会・
意見交換会



録画映像配信

表紙の写真

（東郷高校生徒会顧問の先生からのコメント）

東郷高校の生徒会では、12月初旬に東郷町の活性化をテーマに、全校生徒を対象としたアンケート調査を実施しました。アンケート項目の中には、「東郷高校の生徒としてできることは何か」という質問もあり、高校生ならではの意見を聞くことができました。アンケートを通じて寄せられた意見を生徒会で整理・集約し、提案として取りまとめました。

12月19日には、その内容を町議会にお伝えし、議員の皆様との意見交換会を行いました。

当日は議員の皆様とグループに分かれて意見交換会をおこない、将来の東郷町について考えを深める貴重な機会になりました。意見交換会後の生徒会の会議では、「自治体で実施されていることについて生徒が知らないことは多くあった。生徒会活動として、自治体と高校生をつなぐことをしていきたい。」と、今後の展望について話し合いました。



令和8年第1回定例会日程

2月9日（月） 請願・陳情受付期限（午後3時）	11日（水） 予算委員会（当初予算）	3月9日（月） 本会議予備日
24日（火） 本会議（開会）	12日（木） 予算委員会（補正予算）	17日（火） 委員会予備日
3月3日（火） 本会議（一般質問）	13日（金） 総務経済委員会	
4日（水） 本会議（一般質問）	16日（月） 文教民生委員会	
5日（木） 本会議（一般質問・議案質疑）	24日（火） 本会議（最終日）	
10日（火） 予算委員会（当初予算）		

本会議は10時開始、委員会は9時開始です。ぜひ、傍聴にお越しください。本会議場の傍聴席は固定席32、車いす席4です。また本会議の傍聴を希望される方で手話通訳の利用を希望される方は、会議開催日の15日前までに事務局へお問合せください。

※この日程は、本誌発行時点での予定であり、開催までに変更する場合があります。より最新の情報は、議会ウェブページもご参照ください。

編集後記

広報広聴委員会

委員長 中野まさひろ
副委員長 加藤のぶひさ
石原えりか
高橋道則
山下茂
こう田さとみ
水川淳
門原武志

年の瀬の迫った12月24日クリスマスイブに編集後記を執筆しております。東郷町議会においては1期生という立場ではありますが一切の甘えは許されないのが東郷町議会の1議席を町民のみならずから預かっている立場です。日々至らなさを感じながら過ごしております。

さて、会期中においても議員間にて議会、委員会以外のいたる所で活発な議論が交わされているようになったと感じております。各委員会でもそれぞれの取組を形にするべく調査し見識を深める場が増えてきていることも

実感しております。広報広聴委員会においても様々な新しい取組が始まりました。議会報告会はWEB議会報告会とすることや、意見交換会もテーマを決め、よりご意見がいただけるよう工夫を凝らしてまいります。日々進化している東郷町議会がしっかりと議論した結果や各議員の思いの詰まったものがこの議会広報紙だと感じております。本誌がお手元に届くころには東郷町議会の新たな進化をみていただけますのでご期待ください。

（広報広聴委員会 副委員長 加藤のぶひさ）